

## みやざき農業DXスタートアップ事業（民間連携強化事業）公募課題一覧

	課題名	応募における留意点
1	生産管理システムと豚舎環境センシング技術による省力的養豚経営モデルの実証	<p>本県では、養豚農家の規模拡大に向け、マルチサイト方式の導入を推進することとしています。規模拡大に向けては、管理作業の省力化、効率化などが必要であり、生産管理システムによる生産データの即時共有や、豚舎環境センシング技術を活用した遠隔での豚舎環境モニタリング等、スマート農業技術の導入が必要となります。</p> <p>このため、県内において、これらシステムの導入による効果検証（労力面、経営面等の観点）を行うとともに、今後本県での普及拡大に向けた課題の抽出・改善に向けた取組、技術の普及拡大に向けた取組を行うコンソーシアムを募集します。</p>
2	複合環境制御装置装備施設におけるピーマン栽培管理マニュアルの作成	<p>本県は、施設野菜の生産特にきゅうり、ピーマンの生産が盛んな地域であり、これら品目の振興に向けては収量確保とともに、省力化の取組が必要です。現在、本県では複合環境制御装置の活用が進みつつありますが、きゅうりに比べ、ピーマンではその導入が遅れているところです。</p> <p>このため、ピーマンの複合環境制御装置装備施設において、各種データと栽培技術の関連を分析しながら、環境制御技術を構築し、当該地域での管理マニュアルの作成、技術の普及拡大に向けた取組を行うコンソーシアムを募集します。</p> <p>なお、複合環境制御装置については、現在本県において普及しつつある換気、カーテン、加温、CO2施用の機能を有する施設であることを必須とします。</p>
3	無人除草機等を活用したぶどう栽培管理の省力化	<p>ぶどうは、果樹類の中で最も労働力を要する品目の一つであり、規模拡大等に向けては労働力の低減、作業性の向上等が必要となるところです。近年、無人除草機や自動追従運搬車等の省力化機械等が開発され、本県では試験研究機関での効果検証等に取り組まれているところではありますが、現地への導入は進んでいないところです。</p> <p>そこで、県内において、これら機械の導入及び効果検証（労力面、経営面等の観点）を行うとともに、今後の普及拡大に向けた課題の抽出・改善、技術の普及に向けた取組を行うコンソーシアムを募集します。</p>
4	露地果樹における農地環境推定システムを活用した生育予測・栽培管理の実証	<p>本県は温暖な気候を生かし、果樹栽培を進めてきたところですが、近年の温暖化等に伴う気候変動による果樹栽培への影響は大きく、適応策の確立が必要となります。近年、圃場毎の精密な気象データを推定するシステムが開発されたところですが、本技術の現地での活用は進んでいないところです。</p> <p>そこで、県内において、これら気象データを活用した栽培管理などを実施し、効果検証（生産面、労力面、経営面等の観点）を行うとともに、今後の普及拡大に向けた課題の抽出・普及拡大に向けた取組を行うコンソーシアムを募集します。</p>
5	環境測定装置を活用した光合成量測定による施設野菜栽培管理方法の検討	<p>施設園芸における環境制御技術については、きゅうり等の主要品目を中心に本県での導入が進んでいるところです。環境測定装置の導入により、ハウス内の環境を正確に測定することができる一方、作物にとって最適な環境となっているか等についての評価ができておらず、今後の普及拡大に向けては、環境データと生育量の関連を明らかにすることが必要と考えています。</p> <p>そこで、県内において、光合成量の測定ができる装置を活用し、環境データ及び生育調査等との相関を調査するとともに、栽培管理の改善、本技術の普及拡大に向けた取組を行うコンソーシアムを募集します。</p>
6	施設野菜におけるICTを活用した生育調査手法の検討	<p>県では、施設園芸における環境制御技術の導入を推進しているところであるが、この推進に当たっては、環境測定装置から得られた各種データと作物の生育調査結果を比較し、評価することが必要となるところです。この生育調査には多大な労力が必要であり、この省力化が望まれるところです。</p> <p>そこで、県内の主要品目（きゅうり、ピーマン、トマト類など）において、農業者等でも活用できる簡易に作物の生育量等を測定できる技術を導入し、その有用性について検討する取組を行うコンソーシアムを募集します。</p>
7	ドローンを活用した飼料生産における収量拡大、省力・低コスト化の検証	<p>世界的な原材料価格の高騰等により、飼料価格の上昇が続いており、本県においては、自給飼料の生産拡大等の取組を推進しているところです。しかしながら、自給飼料生産における労力軽減や生産コストの低減が課題となっているところです。</p> <p>そこで、県内において、農業用ドローンを活用した飼料生産の省力化やコスト削減などの効果検証（生産面、労力面、経営面等の観点）及びマニュアル化を行うとともに、普及拡大に向けた取組を行うコンソーシアムを募集します。</p>